和　歌　山　県　民　歌

西川好次郎　/　作詞
山田　耕筰　/　作曲

ほのぼのと　かおる浜木綿
陽に映ゆる　緑の起伏
和歌山は　常春の国
人の和と　文化を添えて
いや更に　伸びよ栄えよ
ふるさとは　つねに微笑む

南国の　息吹ゆたかに
野は稔り　街はおどる
和歌山は　幸を生む国
汗に明け　火花に暮れて
いや更に　伸びよ栄えよ
ふるさとは　つねに微笑む

くろがねの　軌道ゆくところ
黒潮の　しぶきはめぐる
和歌山は　明日を呼ぶ国
とこしえの　若さに乗りて
いや更に　伸びよ栄えよ
ふるさとは　つねに微笑む

和歌山県民歌の誕生

戦後間もない昭和２３年（１９４８年）、篤志家から「後世に残るものを何か考えてほしい。」と和歌山フィルハーモニック・ソサイエティー委員長の竹中重雄氏が依頼を受けて、県民歌の作詞・作曲の一般公募を行い、同年８月に県民歌が誕生しました。

食べるにこと欠くこの時代に、愛郷の精神が強く、和歌山再建の熱意に燃えて誕生した歌です。

作詞者は、小学校教諭の西川好次郎氏で、県内の市町歌や校歌を多く作られています。

作曲者は、「赤とんぼ」「この道」「からたちの花」で有名な山田耕筰氏です。

和歌山県民歌